

# 港中だより

伊勢市立港中学校 No.15

R1. 9. 6

校長 金森 晃生

## 広島平和記念式典

伊勢市の各中学校から2人の代表者、計20人が広島平和記念式典に参加しました。式典には、昭和59年に旧伊勢市が非核平和都市宣言をきっかけに、平成6年から毎年中学生が参加してきました。これまでのべ448人となり、代表生徒は“ピースメッセンジャー（平和の使者）”

として周りの友だちや家族など、そして後世に、自分の見聞きしたこと、感じたことを伝えていく大役を担ってくれています。また、各中学校の全校生徒と、一部の小学校で平和を願う千羽鶴を折って、この時に平和記念公園に献納されています。今年も港中学校では、千羽鶴を折る際、佐々木禎子さんの思い・願いを学習し、千羽鶴の意味・意義を考え、全校で取り組みました。港中学校からは浦口涼太さんと丸山瑞葉さんが代表として参加してくれました。7月24日に参加者の結団式が行われました。



8月5日に宇治山田駅で出発式を行い、伊勢市長とともに広島に向けて出発しました。

広島では被爆された方のお話を聞いたり、平和記念資料館を見学したり、青少年平和文化イベントに参加するなどしました。そして、6日には平和記念式典に参加しました。

以下に2人の感想を要約して掲載します。

- ・私は初めて広島に行きました。被爆された方の証言、平和記念資料館での展示や映像、それらを通して、やはり戦争はとても悲惨なものであり、二度と起こしてはいけないのだと思いました。そして記念式典でのこども代表による平和への誓いをその場で聞いたことでよりいっそう強い気持ちを持ちました。戦争は私たち人間の手によって起こるものです。だからこそ、世界中の人たちが平和を作る方向になって欲しいです。

(浦口 涼太さん)

- ・今回広島に行って多くのことを感じました。資料館で、被爆により親より先に亡くなってしまった子に対する親の悲しみ、平和を願う多くの千羽鶴、こども代表による平和への誓い、平和式典に参加したこと。これらの体験により、世界から早く核兵器をなくし、思いやりや助け合いを大切に、まず自分の周りを平和にしたい。そしてそのことを多くの人と共有し、これから生まれてくる子どもたちにも、戦争の恐ろしさを伝え、未来を作って行きたいと強く思いました。

(丸山 瑞葉さん)

今回参加した浦口さんと丸山さんは、他のピースメッセンジャーと一緒に、8月17日に伊勢市長をはじめ多くの人に向けて報告会を行いました。一人ひとりが「平和の大切さ・命の尊さ・核兵器の廃絶」を見たまま・感じたままを感想として述べてくれました。浦口さんと丸山さんは、こども代表の“平和の誓い”についての報告をしてくれました。すべての報告が熱のこもった、平和を望む、強い決意をあらわすたいへんすばらしい報告でした。

本校では9月19日(木)に浦口さんと丸山さんの報告会と、平和学習として講演会を行います。講演会は、父親が長崎で被爆され、その被爆体験を伝承されている被爆2世の佐藤直子さんをお招きしてご講演会を開きます。

改めて、命の尊さ・大切さを実感して欲しいと思います。





## 伊勢市子ども未来会議

子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業の一環として、伊勢市主催で子どもたちが考える未来の伊勢市について意見交流会が行われました。今年度は中学校区に分かれ、中学生が進行役を務め、小中学生と一緒に港中校区について考えました。港中学校からは2年生の、金森大斗さんと龍田真白さんが代表として参加してくれました。その中で校区のいいところは“海があり自然豊かなところ”だという意見が出ました。その反面“交通面で危険な箇所がある”という意見も出されました。これからこの地域や伊勢市をもっと住みやすく、みんなに優しい町を目指して大人も子どもも協力し、すばらしい町にしていきたいと思えます。



## 大運動会近づく！

7日（土）に港中学校大運動会を開催します。今年度も全校生徒が心一つにして取り組むソーランや、各学年で趣向を凝らした学年種目、各個人やクラスで取り組む競技がいろいろあります。

当日は観覧場所や駐車場などご協力いただくこともありますが、これまで暑い中、一人ひとりが一生懸命練習した成果をぜひご覧ください。プログラムにつきましては昨日配布させていただきましたので、ご覧ください。

なお、今年度は天候がずいぶん不順です。当日の天候次第では競技を早めたり、順番を入れ替えたり、中断することもあるかもしれません。ご了承ください。

9月7日（土） 9時開会

## 全国大会入賞報告会

2日（月）に、全国大会の入賞者による報告会がありました。本校からは陸上競技の

4×100mリレー 全国4位 小林玲那 木下奈々花 廣村 結 世古綾葉  
女子100m 全国6位 世古綾葉

の4人が、市長、教育長を訪問し、報告会を行いました。その他にも全国小学生陸上大会、全日本ジュニア体操大会で優勝や入賞した選手も出席しました。

選手が自己紹介し、感想を述べた後、市長、教育長と歓談しました。目標の日本一になれなかったけれど、全国で入賞することの難しさなど、選手の健闘を称えていただきました。中学生としての大会はこれからもありますので、さらに自分を高めて欲しいと思えます。



## ～ 保護者のみなさまへ ～

日ごろは港中学校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

昨日は雷や大雨、その他警報が発令されていたため、登校を見合わせたり、始業の時間の変更を行いました。大きな混乱はなかったものの、いくつかの課題もありました。

これからも急な対応や、緊急連絡などに「すぐメール」を使用します。できるだけ保護者のみなさまや生徒が混乱しないように努めますが、まずは**生徒の安全が第一**です。そのことを最優先し、地震、雷、大雨、通学路の冠水、突風、人的災害時などの登校については保護者のみなさまが判断していただけて結構です。学校と家庭が連携（連絡）して生徒の命を守っていきたくて考えますので、ご理解、ご協力よろしくお願いたします。